

激動する世界の自動車産業： xEV(電動車)の普及加速で変わる 部品取引構造

関西大学 佐伯靖雄*



急成長する xEV 市場の概況

世界の xEV (電動車) 市場が急成長している。xEV とは、BEV (Battery Electric Vehicle)、PHEV (Plug-in Hybrid Energy Vehicle)、FCV (Fuel Cell Vehicle)、REEV (Range Extender EV) で構成される概念である。これらのうち BEV と PHEV が大半を占める。2020 年の中国での新エネルギー車規制の適用範囲緩和を鑑みると、今後は HEV (Hybrid Energy Vehicle) もまたこれに加えて差し支えないだろう。

表 1 に示したように、中国は期待通りにはいかなかった従来の xEV 普及戦略を見直し HEV を環境車に加えた。これにより向こう 15 年近くにわたり、中国市場では巨大な HEV 需要が発生すると見られる。

従来基準での xEV の世界販売台数は、2017 年 122 万台、2018 年 201 万台、2019 年 221 万台、そして 2020 年には 312 万台である。とりわけ 2019 年から 2020 年にかけては、COVID-19 の影響による (ICV: Internal Combustion Vehicle、すなわち化石燃料車が大半の) 自動車販売の一時的な減少をものともせず前年比 4 割増の成長であった。

また xEV 市場の成長を牽引する顔ぶれもダイ

ナミックに変化している。2019 年頃までは ICV を含む全ての自動車販売市場の規模に比例して中国、米国が圧倒的なプレゼンスを示してきたが、2020 年には欧州が 140 万台を販売し前年まで継続して首位だった中国の 120 万台を上回った。これには VW、BMW、Volvo Cars といった伝統的な欧州完成車企業が xEV 投入に本腰を入れてきたこと、また COVID-19 により冷え込んだ消費マインドを刺激するため各国が展開した手厚い購入補助金が作用したことが大きい。他方で米国は 30 万台を販売し第 3 位であった。

これら欧州、中国、米国とで xEV の世界販売台数の約 9 割を占める。各市場には xEV を開発・生産する有力な完成車企業が存在する。他方で 2010 年前後に三菱自らが i-MiEV、日産がリーフを世界に先駆けて上市したわが国の市場規模はふるわず、約 3 万台に甘んじている。

このように現在の xEV 市場は、競争力のある xEV を供給できる完成車企業が存在する市場ほど成長のスピードが速い。わが国は xEV の量産化に先鞭をつけたにも関わらず、ここ数年は市場

表 1 中国の新エネルギー車普及ロードマップ

		2019 年	2025 年	2030 年	2035 年
ICV		95%	40%	15%	0%
	HEV		40%	45%	50%
BEV など NEV		5%	20%	40%	50%

出所：『日本経済新聞』2020.10.28、p.1 を一部表記変更

*(さえき やすお)：商学部 准教授
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35
TEL：06-6368-1121 FAX：06-6369-7704